

10年先の大分市を考える

～新たな大分市総合計画「未来へつなぐ おおいたビジョン 2034」を策定しました～

総合計画は、市民の皆さんの声をもとに、市が目指すまちの姿（都市像）とそれを実現するための具体的な取り組みを示した、最上位の計画です。
10年後、大分市はどんなまちになっているのでしょうか？
未来へ向けた計画を、策定に携わった若者代表のインタビューとともに紹介します。

詳しくは▶



問 企画課 ☎537-5603

大分市のいま

社会情勢や市の課題は…

加速する少子高齢化と人口減少

- 各産業での担い手不足
- インフラの維持困難
- 社会保障関係費の増大

安全・安心な社会への意識の高まり

- 南海トラフ巨大地震への懸念
- 特殊詐欺など多様化する悪質な犯罪

デジタル化、グローバル化の進展

- オンラインサービスの普及
- インバウンドや外国人労働者の受け入れ

ライフスタイルの多様化

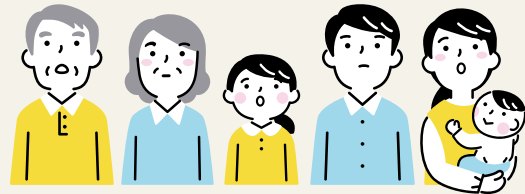
- 物質的な豊かさよりも精神的な豊かさが重視される社会
- 家族の在り方、働き方などが多様化
- 個性や考え方を尊重

地域のつながりの希薄化

- 地域コミュニティ機能の低下
- 社会的な孤立

脱炭素社会への取り組み

- 温室効果ガスの削減
- 2050年ゼロカーボンシティ



10年先の大分市のために

市が目指すまちの姿（都市像）の実現に向け、新たな総合計画を策定しました。

目指すまちの姿（都市像）

誰もが“幸せ”を実感できるまちOITA

計画のポイント

すべてのひとが、身体的・精神的・社会的にも満たされ、誰もが“幸せ”を実感することができる、ウェルビーイングな社会の実現を目指します。

ひとを中心としたまちづくり

- 市民、地域コミュニティ、行政が一緒にまちづくりに取り組む
- 次代を担う若者が住み続けたくなり、未来に向けて挑戦し活躍できるまちへ

地域の個性を生かした自立したまちづくり

- 各地域の実情やその特性を生かし、活力に満ちた魅力あるまちへ

新たな時代の市民ニーズに対応した多様な連携

- ライフスタイルの多様化やデジタル化が進む中で、さまざまな地域課題や市民ニーズに対応するため、他自治体や企業、大学などと連携する

計画に基づく政策・施策の推進

- 行政評価を通じて事業成果などの検証を行うとともに、その結果を踏まえた施策や事務事業を展開する

デジタル技術の活用などによる地方創生のさらなる推進

- 産業や行政、教育など、さまざまな分野でデジタルの力を活用し、暮らしやすい魅力的なまちへ

地方分権改革の推進

- 住民やNPOなどさまざまな地域の主体とともに、地域特性を生かしたまちづくりを行う

持続可能な行財政運営の推進

- 不断の行政改革に取り組み、人材・財源など限られた行政資源を最大限有効活用する

INTERVIEW

若者代表委員 **池部 夢叶さん**

計画とその言葉の表現が、10年先にも通用するのか？という視点を大切にしました。また、私は学生団体に所属しており、活動を通して得られた中高生や地域の人の意見も届けられたと思います。



総合計画の中身

3つの目指すまちの方向性に沿って取り組みます。

1 豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち

こども・子育て支援の充実

- 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、切れ目ない支援の充実（出会いの場の創出、経済的支援や相談支援体制、学習機会の充実）
- こどもと家庭へのきめ細かな支援（児童虐待や貧困の解消）

豊かな人間性の創造

- すべてのこどもの学びを保障（いじめや不登校、ヤングケアラーなどに対応）
- 教職員の能力向上と働き方改革の推進
- ICTを活用した情報教育の推進、特別支援教育の充実
- 文化や科学などに対する興味・関心を深める学習機会の提供

スポーツの振興

- 生涯スポーツの推進や競技スポーツの振興
- スポーツを指導・支援する人材の育成
- 身近で楽しめるアーバンスポーツの推進など



INTERVIEW

若者代表委員
渡邊 花鈴さん

学習にスマホやパソコンを活用していること、アーバンスポーツに興味はあるができる場所が少ないと感じていることなど、等身大の意見を伝えました。若者・学生としての立場が生かして良かったです。



2 共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち

地域コミュニティの活性化

- 自治会活動の運営にデジタルを活用、正確で分かりやすい情報提供

社会福祉の充実

- 複雑化・複合化した課題に対する包括的な支援体制の強化
- 保健・医療・介護が連携し、自立支援や重度化防止、認知症への正しい知識と理解を深める取り組みを推進
- 改正障害者差別解消法に基づく、合理的配慮の提供義務に係る周知・啓発

防災・減災力の向上

- 地域防災力の向上と官民連携の強化（自助・共助の理念の普及啓発、こどもへの防災教育）
- 防災インフラやライフラインの整備・強靱化（特定建築物の耐震化、被災後の復興課題の整理や体制づくり）など



若者代表委員
松井 瞬さん

専門家の意見を聞きながら総合計画をつくる過程に参加できて、とても勉強になりました。特に、自治会活動など、日ごろの地域での関わりが災害時の共助につながると改めて認識しました。

3 新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち

DXの推進

- デジタル技術を活用した市民サービスの向上、デジタル人材の育成（行政手続きのオンライン化、オープンデータの利活用）

活気ある商工業・流通の展開

- 新たな産業の創出（若者への起業家教育）
- 産業集積の推進（半導体関連産業のさらなる集積）
- 物流インフラの強化支援

快適な都市構造の形成と機能の充実

- 暮らしやすい持続可能な地区拠点の形成
- 公共交通の確保・維持、自転車利用環境の充実など

INTERVIEW

若者代表委員 **佐野 文梧さん**

大学で学んだ都市経営やコンパクトシティの知見から、公共交通を活用する意見を発表しました。部会では、若者ならではの自由なアイデアも出ましたが、事業の採算や公益性も必要と認識しました。

